



## あけまして おめでとうございます

2019年元旦



豊田市長  
太田 稔彦



豊田市議会議長  
鈴木 章

市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春を、市民の皆様とともに迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年は、平昌<sup>ピョンチャン</sup>オリンピック・パラリンピックで銀メダルを獲得した宇野昌磨選手と森井大輝選手、第18回アジア競技大会で金メダルを獲得した羽根田卓也選手など、様々な分野で多くの市民が活躍された1年となりました。

また、在宅医療の推進拠点となる豊田地域医療センターの再整備や、子育て支援拠点の機能拡充のためにとよた子育て総合支援センター「あいあい」のリニューアルなど、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりについても推進してまいりました。

今年も、市民の皆様が様々な分野で活躍できる取組を展開するとともに、安全・安心なまちづくりを進めることで、「希望に満ちた元気で明るいまちづくり」を進めてまいります。

さて今年も、いよいよ本市でもラグビーワールドカップ2019™日本大会が開催されます。世界中の人々が注目するこの国際的な大会を契機に、都市の国際化、文化・スポーツ・芸術の振興、ボランティアや市民活動の推進など、魅力と活力ある本市のまちづくりを加速してまいります。

また、将来都市像として掲げる「つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた」の実現を目指し、「超高齢社会への適応」、「産業の強靱化」、「暮らしでよし・訪れてよしの魅力創出」の3点を重点的に取り組んでまいりますので、市民の皆様におかれましては、市政発展のために、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。輝かしい2019年の新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。豊田市議会を代表して、ごあいさつを申し上げます。

本年は、日本国として、豊田市として時代が大きく変わる、またこれまで積み上げてきた成果の間われる重要な1年だと感じています。

まず、5月1日には、これまで親しまれ歩んできた「平成」に別れを告げ、皇太子<sup>なるひとしんのう</sup>徳仁親王殿下が皇位を継承され、新たな元号の時代が始まります。元号が変わることの意味には、新たな名前をつけることによって、時代の流れを変えようとする試みだという考え方もあり、少子化と超高齢化が進み都市部と農山村部の格差拡大が懸念される日本において、現状を打開し将来の発展に向けた大きな一歩を踏み出す1年になると考えられます。

また、豊田市においては、ラグビーワールドカップ2019™日本大会が開催され、豊田スタジアムでは、日本代表戦を含む4試合が予定されています。市議会では「豊田スタジアムを生かしたまちづくり特別委員会」を中心に、昨年愛知県内54市町村全ての議会をくまなく訪問してPR活動を行い、県内の応援体制を構築してまいりました。

さらに、市議会では1月12日(土)に「とよたでスポーツを楽しもう」のテーマで市民シンポジウムを開催して、全市を挙げてのラグビーワールドカップ2019™成功に向けて全力で取り組んでまいります。

本年も市議会へのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、市民お一人お一人のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。